

Q4 それぞれの税目ごとに、どういう特徴があるの？

それぞれの税目は、下の表のように様々な特徴を有しています。

例えば、消費税は高齢者も若い人も年齢に関係なく全員で負担を分かち合っているのに対して、所得税は主に勤労世代が広く負担しています。また、相続税は限られた一部の資産家層が対象となっているなど、負担いただく層は、税によって大きく異なります。

また、例えば、税収面に着目すると、法人税等の所得課税は税収が景気の動向に比較的左右されやすいのに対し、消費税は比較的左右されにくく、安定的です。

	税収 (平成28年度予算)	特徴
所得税	18.0兆円	<ul style="list-style-type: none">・担税力に応じて、累進的に負担が増加します。・勤労世代(現役世代)が主として負担します。・各種控除などにより、個々人の担税力に対してきめ細かい配慮が可能です。
法人税	12.2兆円	<ul style="list-style-type: none">・成長戦略との整合性や企業の国際的な競争力の維持・向上などに対する配慮が必要です。・さまざまな政策税制措置が講じられています。・税収が景気の動向に比較的左右されやすい特徴があります。
消費税	17.2兆円	<ul style="list-style-type: none">・勤労世代など特定の者に負担が集中せず、高齢者を含めて国民全体で広く負担を分かち合うこととなります。・税収が景気の動向に比較的左右されにくく安定的です。・簡素な仕組みであり経済活動に対しても比較的中立です。
相続税	1.9兆円	<ul style="list-style-type: none">・格差是正・富の再配分を図るという役割があります。・ごく限られた一部の資産家層のみを対象に負担を求める税となっています。